

「第1期ほっかいどう障がい福祉プラン」の意見ぼしゅうの結果(子ども向け)

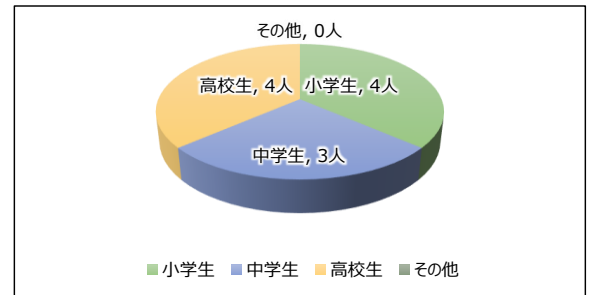
令和6年3月5日

実施期間	令和5年12月5日から令和6年1月5日まで
回答数	11人

1 回答者の年代

【質問】年代をおこたえください。

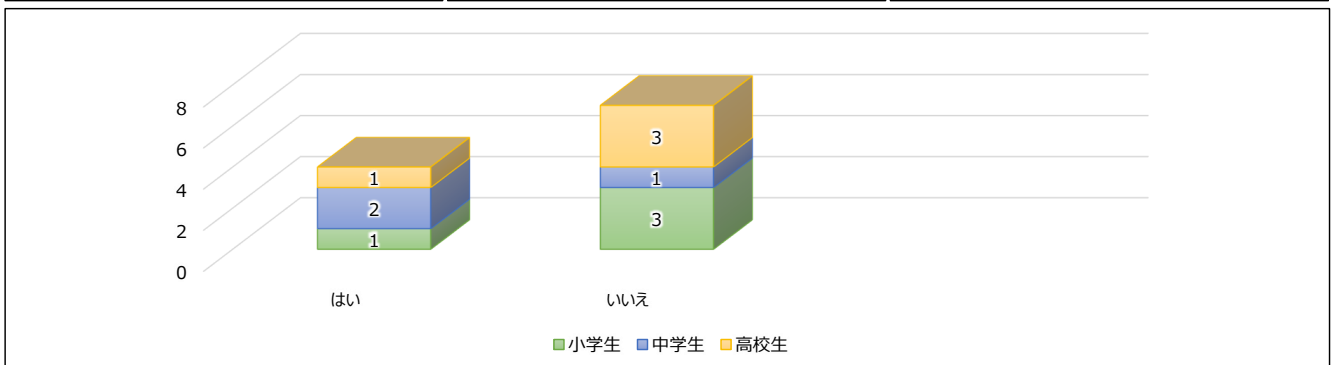
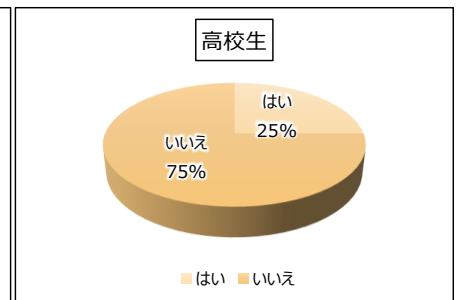
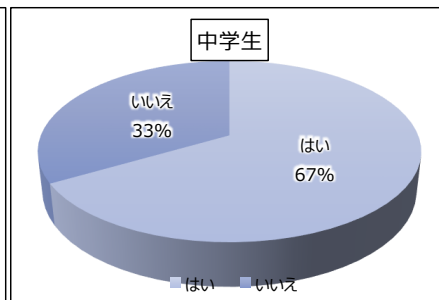
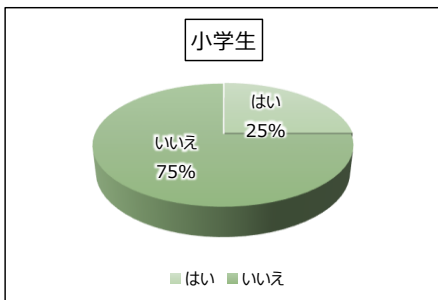
区分	人数	割合
小学生	4人	36.4%
中学生	3人	27.3%
高校生	4人	36.4%
その他	0人	0.0%
合計	11人	



2 障がいのある人とのかわりについて

【質問】あなたの身近(家族・友達など)に、障がいのある人はいますか？

区分	はい	いいえ
小学生	1人	3人
(割合)	25.0%	75.0%
中学生	2人	1人
(割合)	66.7%	33.3%
高校生	1人	3人
(割合)	25.0%	75.0%
その他	0人	0人
(割合)	0.0%	0.0%
合計	4人	7人
(割合)	36.4%	63.6%

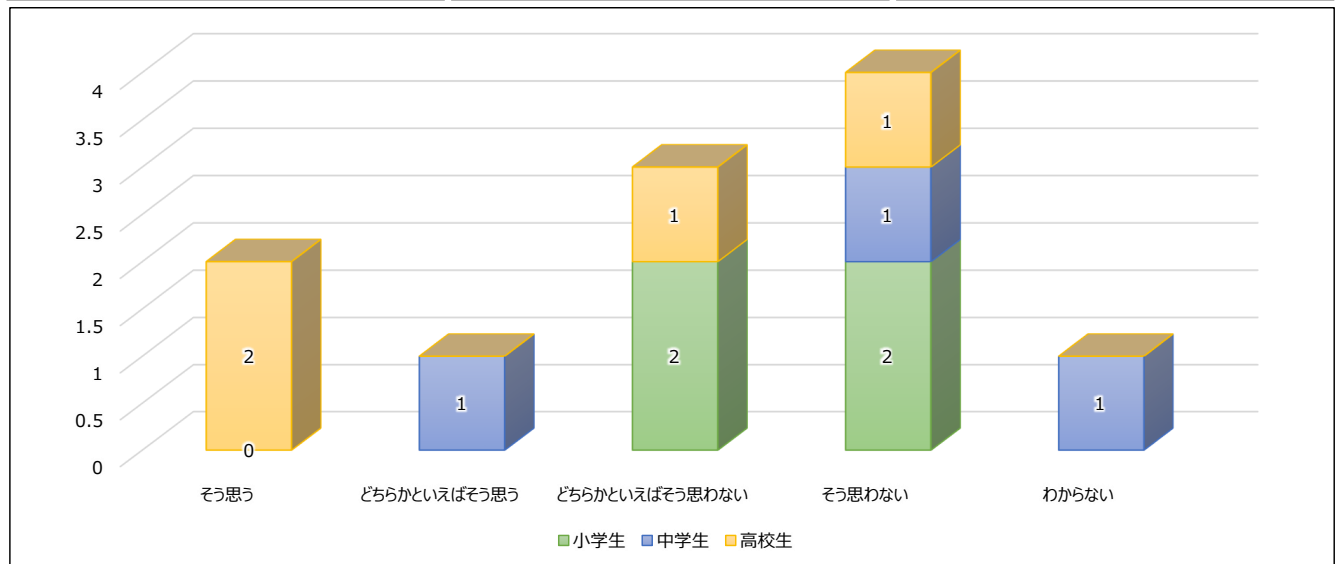
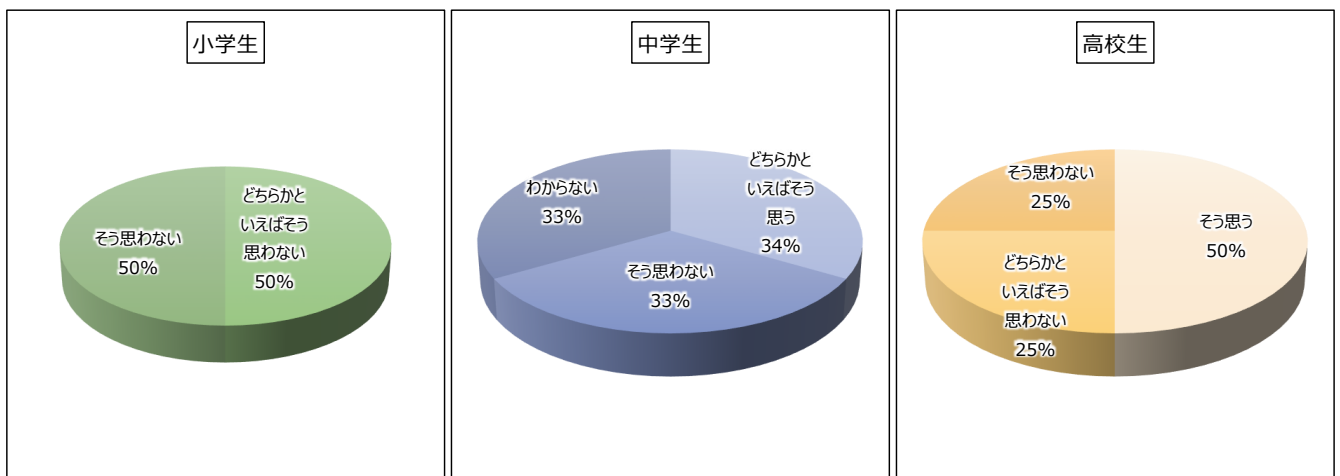


みなさんの意見	「いいえ」の回答が半数を超え、身近に障がいのある人が多く居ないことがわかりました。
意見の反映	北海道が行っている障がいに関する正しい知識の取得や理解が深まるような取組を、これからも多くの人に知ってもらえるようにしていきます。

3 障がいのある人の生活について

【質問】 障がいのある人は、障がいのない人と同じように学校に通ったり、仕事をしたりできていると思いますか？

区分	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
小学生	0人	0人	2人	2人	0人
(割合)	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
中学生	0人	1人	0人	1人	1人
(割合)	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%
高校生	2人	0人	1人	1人	0人
(割合)	50.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%
その他	0人	0人	0人	0人	0人
(割合)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	2人	1人	3人	4人	1人
(割合)	18.2%	9.1%	27.3%	36.4%	9.1%

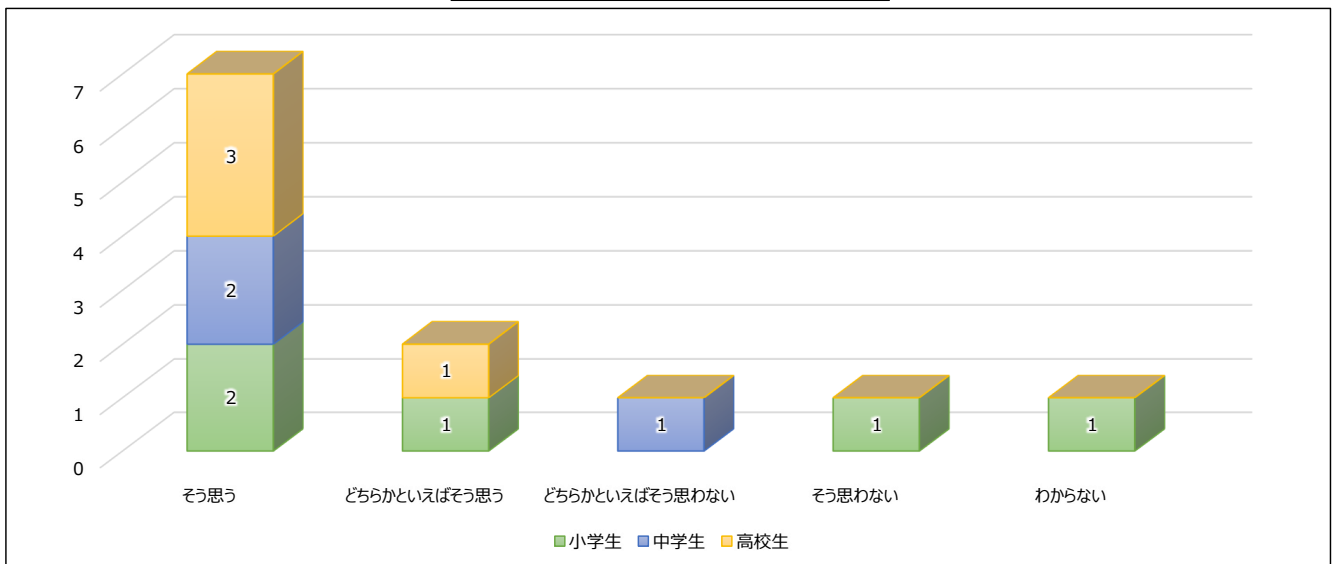
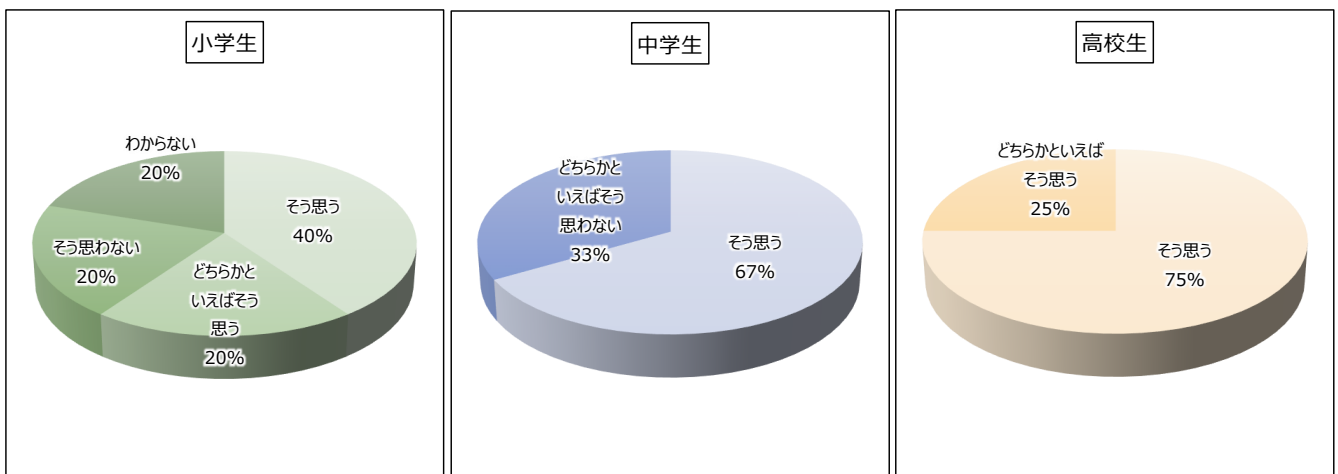


みなさんの意見	「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせると、64パーセントとなり、半数を超える人が障がいのある人が障がいのない人と同じように学校に通ったり仕事ができていると思っていないことがわかりました。
意見の反映	障がいの有無に関わらず、すべての児童が希望する学校に通い、一緒に学んだり、遊んだり出来るように支援します。また、仕事に就きたい人が働くことが出来るように支援していきます。

4 障がいのある人との交流について

【質問】 障がいのある人と一緒に活動したり協力したりすることは、良い経験になると感じますか？

区分	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
小学生 (割合)	2人 50.0%	1人 25.0%	0人 0.0%	1人 25.0%	0人 0.0%
中学生 (割合)	2人 66.7%	0人 0.0%	1人 33.3%	0人 0.0%	0人 0.0%
高校生 (割合)	3人 75.0%	1人 25.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他 (割合)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
合計 (割合)	7人 63.6%	2人 18.2%	1人 9.1%	1人 9.1%	0人 0.0%

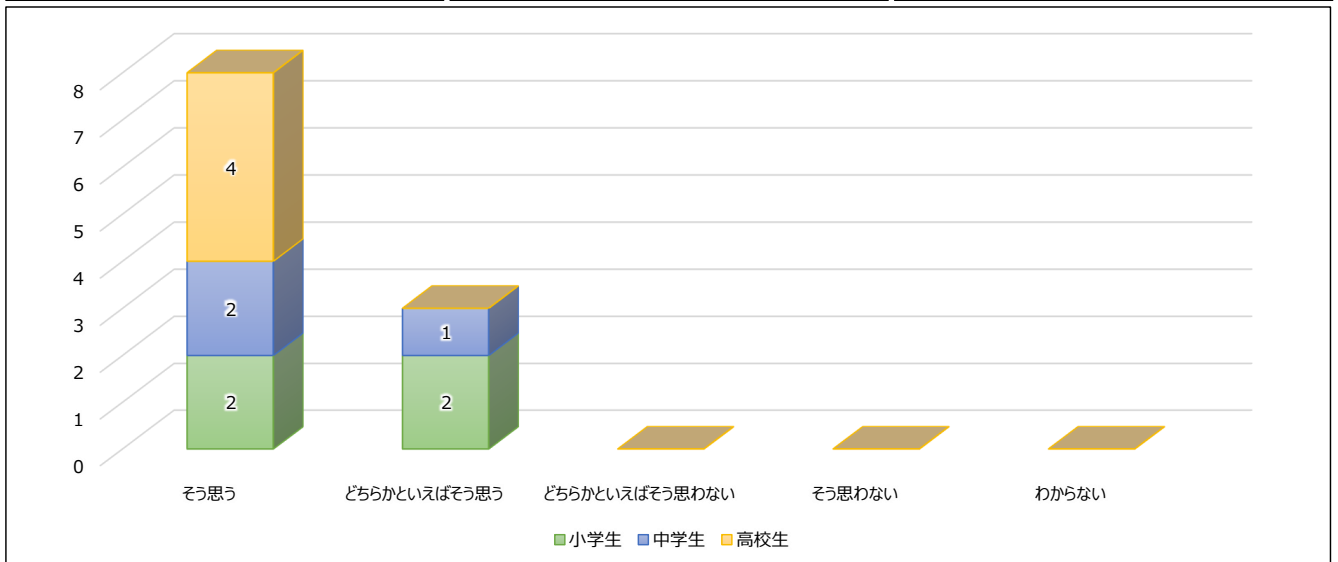
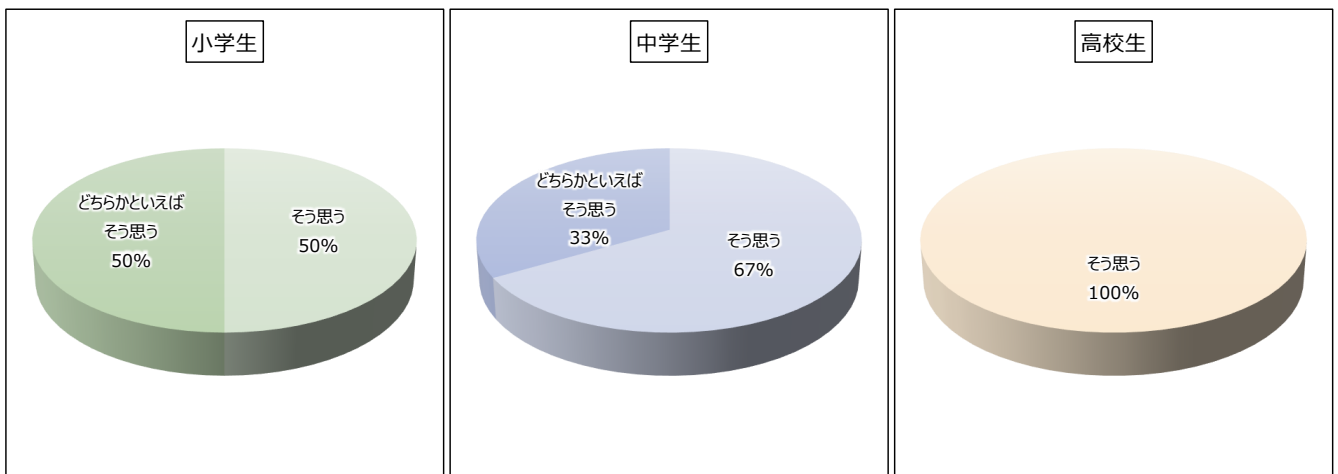


みなさんの意見	「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせると、82パーセントとなり、ほとんどの人が障がいのある人と一緒に活動したり協力したりすることは良い経験になると感じていることがわかりました。
意見の反映	障がい有無に関わらず、互いに支え合い、地域で明るく豊かに暮らしていける社会を目指す「ノーマライゼーション」の理念に基づいて、障がいのある人が参加することのできる様々な活動の機会を増やして、生きがいをもって生活できるように支援します。

5 障がいのある人への理解について

【質問】 障がいのある人と交流することは、私たちがくらす地域の理解を深めるために重要だと思いますか？

区分	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
小学生	2人	2人	0人	0人	0人
(割合)	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
中学生	2人	1人	0人	0人	0人
(割合)	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
高校生	4人	0人	0人	0人	0人
(割合)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0人	0人	0人	0人	0人
(割合)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計(延べ)	8人	3人	0人	0人	0人
(割合)	44.4%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%

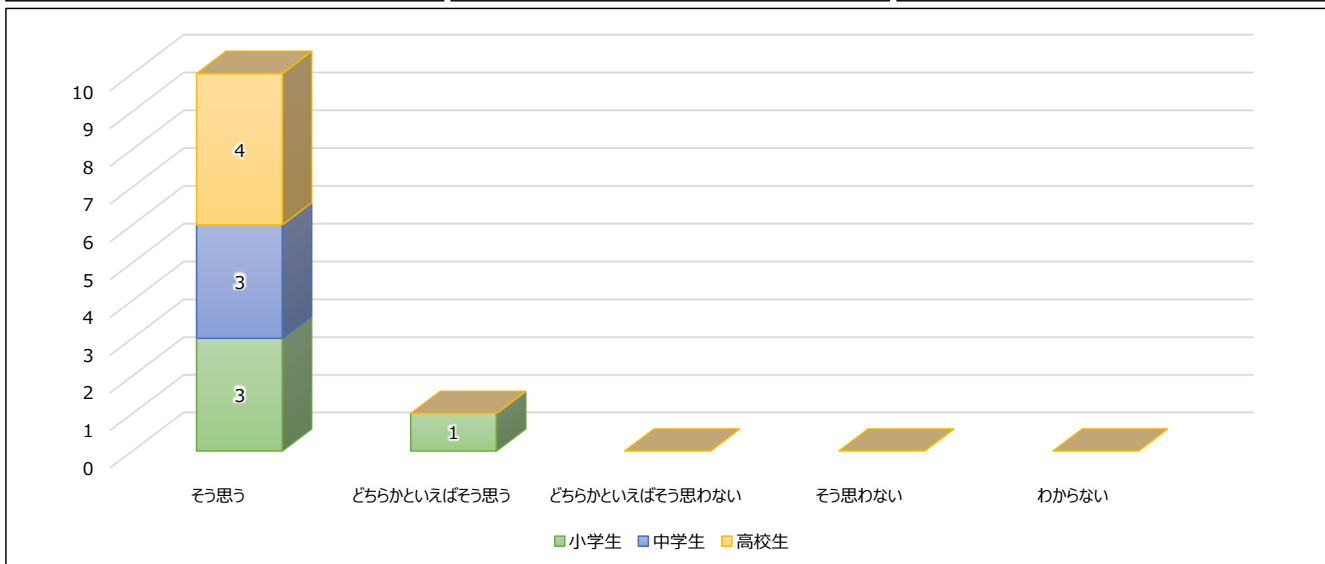
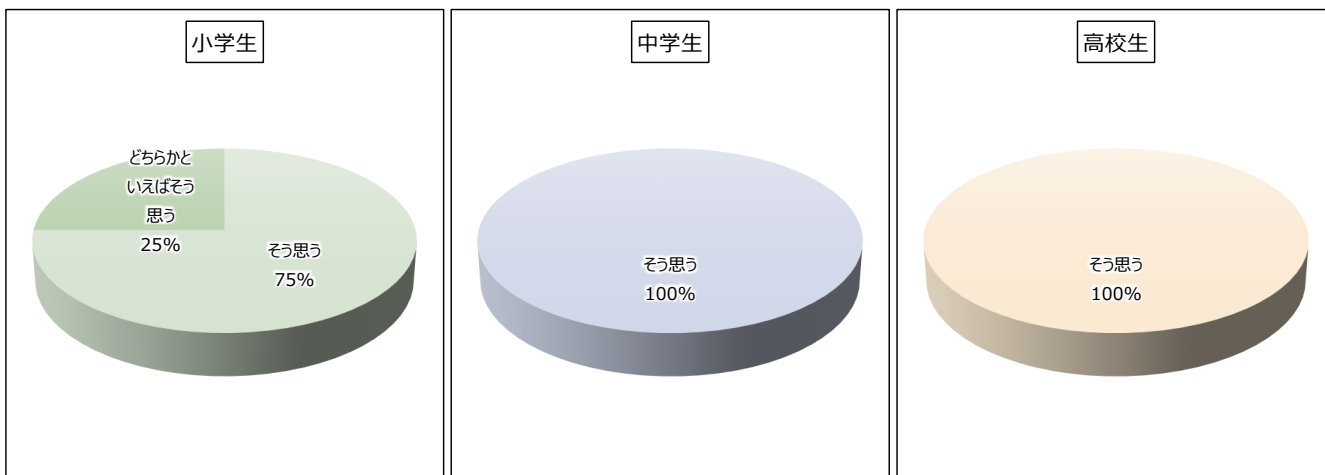


みなさんの意見	「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせると、100パーセントとなり、全員が障がいのある人と交流することは重要だと思っていることがわかりました。
意見の反映	障がいのある人が地域の活動に参加出来るように芸術活動やスポーツが広まるよう支援します。また、障がいのある人もない人も同じく必要とすることを学習したり楽しんだりできるようにしていきます。

6 障がいのある人への配慮の必要性について

【質問】 障がいのある人には、点字や音声での案内、手すりの設置などの特別な支援や配慮が必要だと思いますか？

区分	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
小学生	3人	1人	0人	0人	0人
(割合)	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
中学生	3人	0人	0人	0人	0人
(割合)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
高校生	4人	0人	0人	0人	0人
(割合)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0人	0人	0人	0人	0人
(割合)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計(延べ)	10人	1人	0人	0人	0人
(割合)	90.9%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%

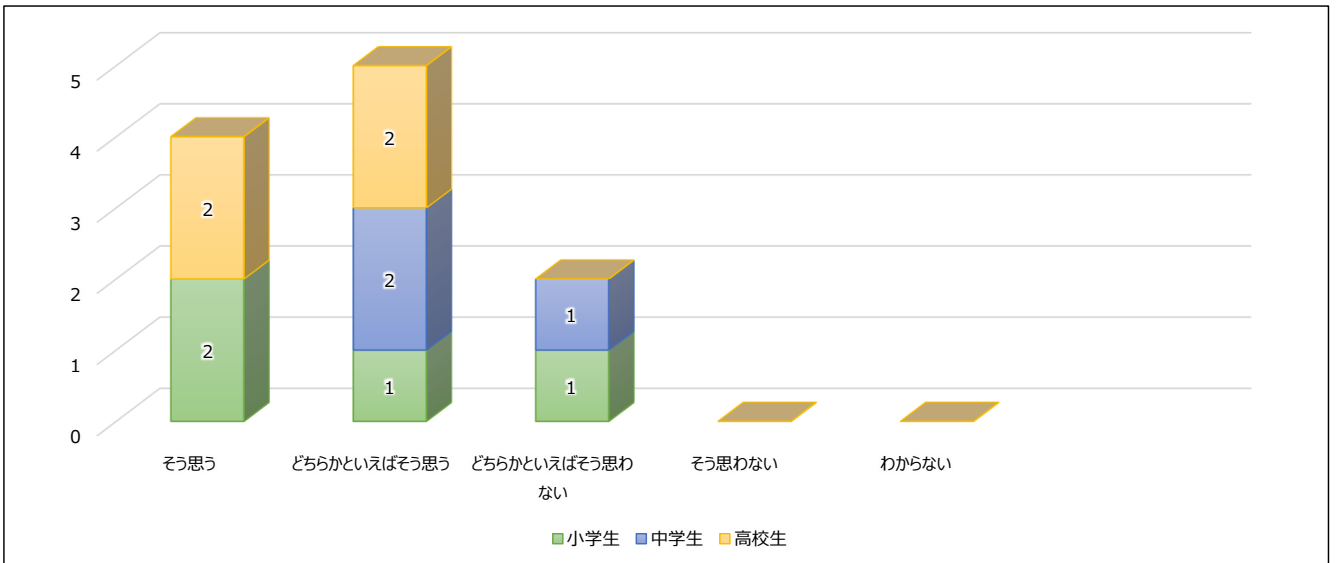
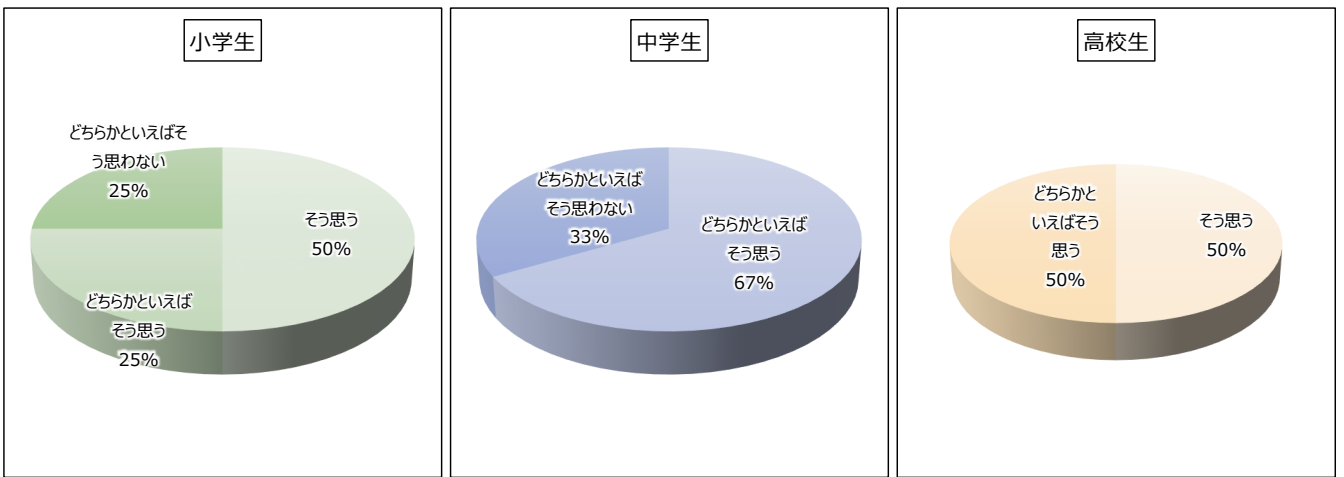


みなさんの意見	「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせると、100パーセントとなり、全員が障がいのある人には特別な配慮が必要だと思っていることがわかりました。
意見の反映	障がいのある人の意思疎通の妨げとなる問題を解消して、障がいの有無に関わらず、みんなで支え合い暮らしやすい社会を実現できるように、意思疎通の支援に関する様々な取組を進めます。

7 障がいのある人への配慮の有無について

【質問】 障がいのある人は、社会で、点字や音声での案内、手すりの設置などの特別な支援や配慮を受けていると思いますか？

区分	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
小学生 (割合)	2人 50.0%	1人 25.0%	1人 25.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
中学生 (割合)	0人 0.0%	2人 66.7%	1人 33.3%	0人 0.0%	0人 0.0%
高校生 (割合)	2人 50.0%	2人 50.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
その他 (割合)	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	0人 0.0%
合計 (割合)	4人 36.4%	5人 45.5%	2人 18.2%	0人 0.0%	0人 0.0%

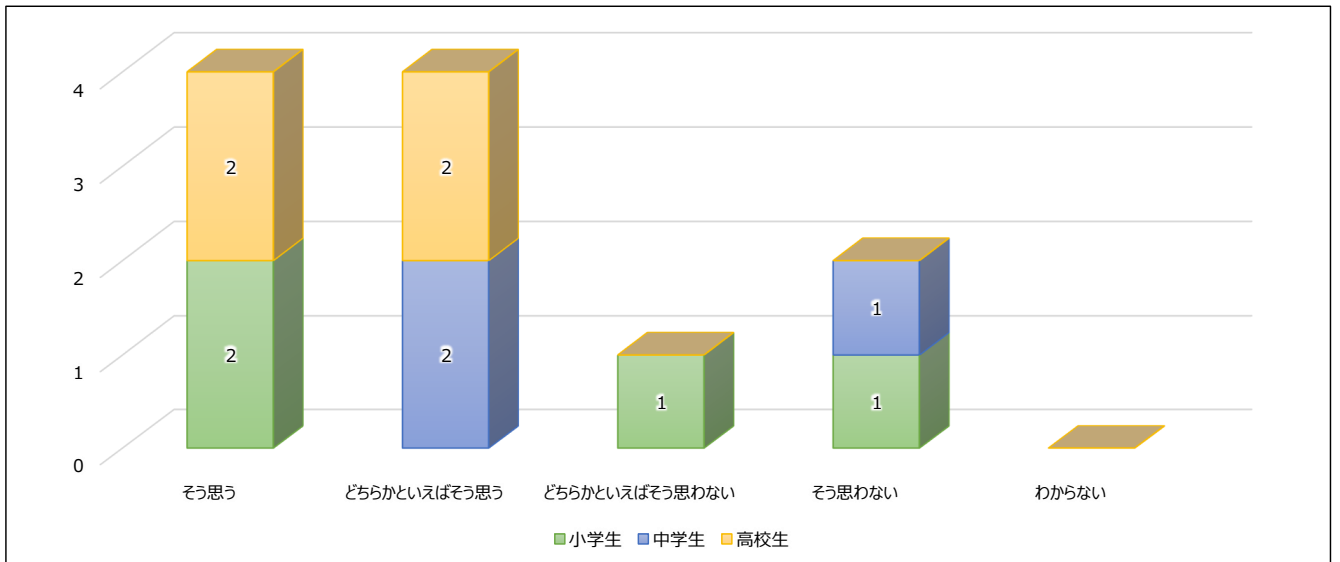
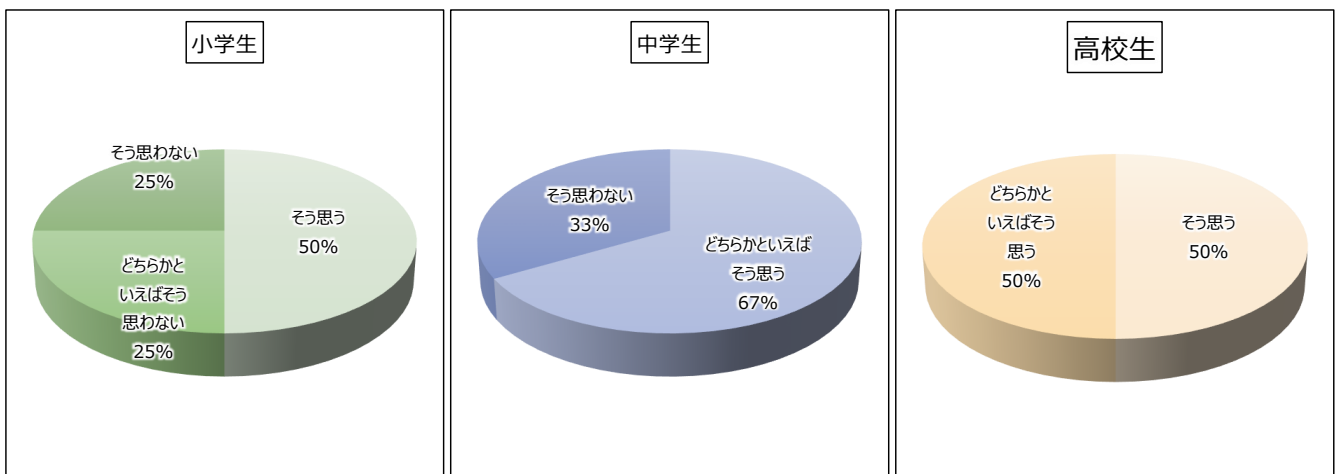


みなさんの意見	「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせると、82パーセントとなり、ほとんどの人が障がいのある人が特別な支援や配慮を受けていると思っていることがわかりました。
意見の反映	障がいのある人の特性により、点字、手話、要約筆記、代筆・代読など様々な意思疎通手段があるため、障がいのある人の意思疎通手段が使いやすい環境の整備に努めます。

8 障がいのある人がこまっていることについて

【質問】 障がいのある人が抱える困りごとを十分理解していると思いますか？

区分	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
小学生	2人	0人	1人	1人	0人
(割合)	50.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%
中学生	0人	2人	0人	1人	0人
(割合)	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%
高校生	2人	2人	0人	0人	0人
(割合)	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0人	0人	0人	0人	0人
(割合)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計(延べ)	4人	4人	1人	2人	0人
(割合)	36.4%	36.4%	9.1%	18.2%	0.0%

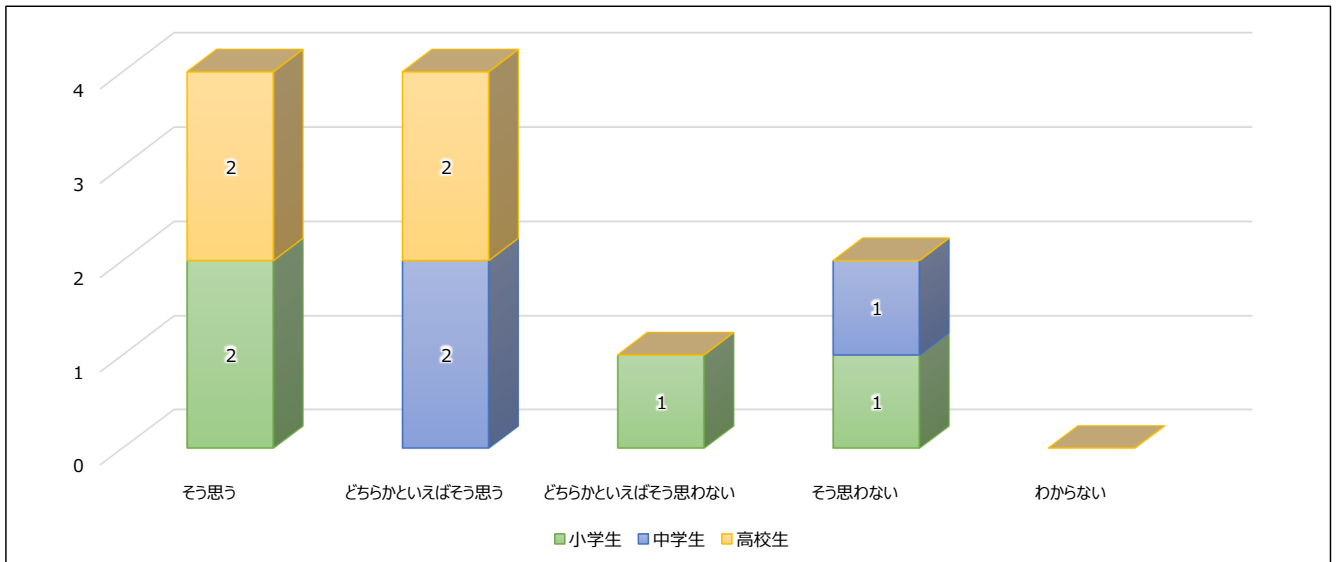
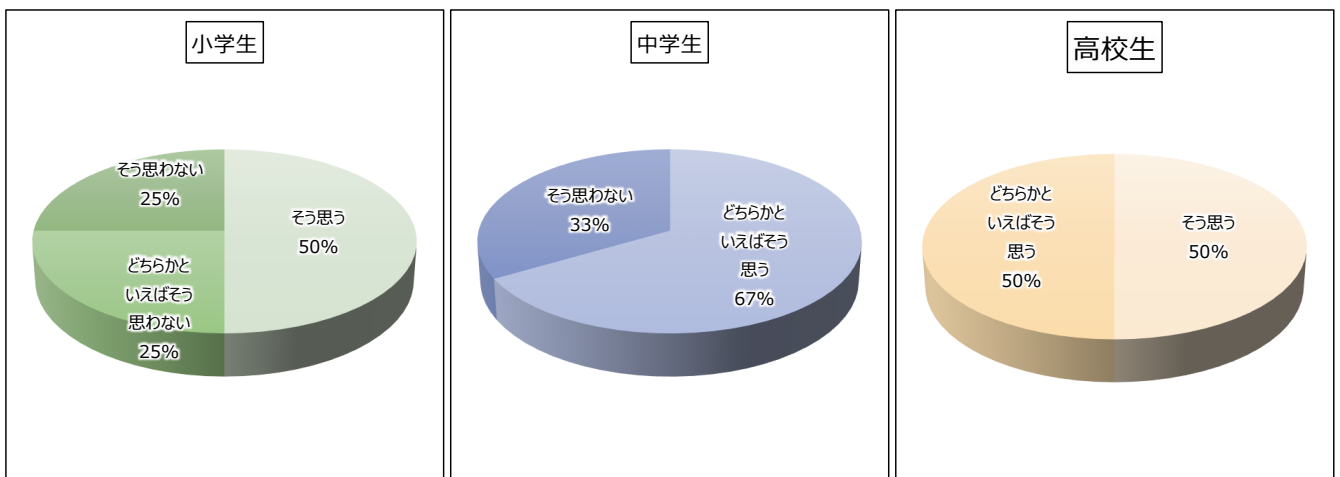


みなさんの意見	「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせると、73パーセントとなり、半数を超える人が障がいのある人が抱える困りごとを十分理解していると思っていることがわかりました。
意見の反映	障がいがある人が抱える困りごとをさらに理解するために、住み慣れた地域で安心して暮らすことができる社会づくりを目指すために設置している地域づくり委員会(問題の解決に向けて話し合う場)で地域の課題の解決を目指します。

9 障がいのある人への差別について

【質問】 障がいのある人への差別や偏見は、まだあると思いますか？

区分	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
小学生	2人	1人	1人	0人	0人
(割合)	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%
中学生	1人	2人	0人	0人	0人
(割合)	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
高校生	3人	1人	0人	0人	0人
(割合)	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0人	0人	0人	0人	0人
(割合)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計(延べ)	6人	4人	1人	0人	0人
(割合)	54.5%	36.4%	9.1%	0.0%	0.0%



みなさんの意見	「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせると、91パーセントとなり、ほとんどの人が障がいのある人への差別や偏見はまだあると思っていることがわかりました。
意見の反映	障がいのある人への差別や偏見を禁止し、障がいのある人の暮らしづらさをなくすとともに、障がいのある人の権利を最大限に尊重することなどについて、理解促進に努めます。

10 その他について

【質問】 その他に、なにか意見があればおこたえください。

年代	意見の内容	意見の反映
小学生	僕自身が発達障がいがあり不登校です。学校が合わず、理解されず、助けて貰えない。障がい者学級だと違うし、普通学級だと先生に怒られてばかりで辛い。通級は週1なのでもっと行きたい。	子ども一人一人に合わせた学べる場所と相談できる場所を充実させる取組を進めています。御意見の通級については、在学中の学校と十分に相談していただくほか、お住まいの市町村の教育委員会や道立特別支援教育センターという相談窓口もあるので利用することも考えてみてください。
中学生	障がいのある人が就職しにくい問題がある。障がいがあることで差別されたり、障がいだけを見てその人自身を見ずに、その人の良いところにつけていない。	障がいのある人が、希望する地域や本人の意欲、障がいに応じた働き方が出来るように、社会全体で応援することが必要であり、これからも働ける機会を増やしていく取組を進めていきます。
中学生	もっと障がいのある人について、知りたいし、知って欲しいと思う。	障がいについての正しい知識が理解されるような色々な取組を行っています。障がいのある人を中心に支援できることを進めて、本人が希望する暮らしや意欲、障がいに応じた地域の活動を応援して、全ての障がいのある人が安心して地域で暮らせる社会づくりを目指して取組を進めていきます。